

事業名	鬼無里de薪活プロジェクト
事業実施主体・事業費	特定非営利活動法人 まめってえ鬼無里(補助対象事業費 1,816千円 補助金:1,362千円)
協力団体等	長野市鬼無里支所、鬼無里住民自治協議会、森林所有者、鬼無里学校づくり委員会
事業の概要	<p>林業の担い手不足、薪生産の効率化などの課題を解決するため、地域が連携し、地域内で薪が流通する仕組みづくりを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 先進地視察 (長野市信州新町 薪の松尾、31.1.14) 2 資機材の購入(薪ラック、チェーンソー)・山林実態調査の実施 3 安全講習会の実施(30.11月23日～25日 30.8月4日～5日) 場所 鬼無里地区 出席者20人 4 シンポジウムの実施(30.12.24) 場所 鬼無里活性化センター 出席者40人 5 事例報告会の実施(31.2.15) 場所 鬼無里活性化センター 出席者30人
薪の流通システム解説	<ol style="list-style-type: none"> 1 薪を生産する森林所有者を育成し、薪原木の搬出を行い、鬼無里薪ステーションに運搬する。 2 薪ステーションで原木の受入れ、買取りを行う。NPOが依頼を受けて伐採することも可能 3 まめってえ鬼無里スタッフが薪加工を行い、地域内外の販売先に運搬。 4 地元の公共施設、キャンプ場、パン屋、ピザ屋、ストーブユーザー等に販売を行う。
事業の効果	里山整備の促進、人材育成による森林からの薪原木の生産が可能となり、販売の仕組みも整備された。
事業成果、良かった点、反省点 今後の改善点など	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムや視察により、現状の分析を地域住民と行うことで、販売コストの把握や販売方法の検討、生産作業の効率化のプランニングが実現できた。 ・分かりやすいパンフレットを作成し、プロジェクトについて情報発信ができた。 ・当初予定していた2か所目の薪ステーションの整備ができなかった。 ・平成31年3月から開始した薪原木の買取りを継続的に実施し、生産量の向上を図る。

事業イメージ図(2/4)

地域で木質資源を活用するしくみ 鬼無里de薪活プロジェクト

鬼無里の山林の荒廃をくい止めて里山保全につなげるために「薪」を活用した地域循環のしくみづくりに取り組みます。

地域内で木質資源とお金がまわる

薪は地域と人をつなぎます

山主さん、鬼無里のみなさん

薪の原本として使える木をお知らせください

森林整備、間伐材

林地残材

緩衝帯整備事業の伐木

伐採した庭木

支障木

など

木の受け入れ
買い取り

依頼を受けて
伐採・搬出

鬼無里薪ステーション

(NPO法人まのつてえ鬼無里)



薪を使うみなさん

鬼無里の湯

スギ大割：通年



キャンプ場

スギ小割：夏季



薪窯パン店、薪窯ピザ店

カラマツ、ナラ、広葉樹：通年



薪ストーブユーザー

カラマツ、ナラ、広葉樹：冬季



地域の
メリット

・里山保全

・獣害対策

・経済循環

・景観整備

・観光振興

・CO2削減



チェーンソーの刃の目立て方法を習得



丸太を使った受け口、追い口の練習



専門家の指導のもと、参加者全員が伐倒を体験



チルホールを使った掛かり木の処理を実践

チェーンソー安全講習会 H30.8.4～5 H30.11.23～25



シンポジウム「鬼無里の里山を次世代につなげるために」
(長野市鬼無里活性化センター、30.12.24)